受付印
記載例

この診断書は、保育所入所申請時の添付資料として使用します。

保育施設入所・継続用

診断書(意見書)

受診者(患者)の氏名	南九　一郎	性　別　男・女
受診者(患者)の住所	南九州市川辺町平山〇〇〇〇番地	
傷・病名　〇〇〇〇	初診年月日	H・R　〇年　〇月　〇日
	特定疾患	該当・非該当

傷・病状の経過及び所見

〇〇年〇月〇日、当院を受診し・・・・

医師記入

入院の期間	自宅療養・通院の期間(週　2　回　通院)
H・R　年　月　日から	H・R　〇年　〇月　〇日から
H・R　年　月　日まで　予定	H・R　〇年　△月　×日まで　予定

退院後の自宅静養・通院の期間(週　回通院)

令和　年　月　日　から 令和　年　月　日　まで　予定

□　常時臥床	☑　常時臥床ではないが安静が必要
□　その他(　　)	□　特段の制限はない

現在の受診者の状態(病状)から、保育が可能かどうか、次の該当するものに、チェックしてください。

受診者が保護者※1の場合	(子どもの保育) □　保護者が児童(乳児(0歳)～小学校就学前(6歳))を保育することはできる。 ☑　保護者が児童(乳児(0歳)～小学校就学前(6歳))を保育することは困難である。
受診者が保護者以外※2の場合	(介護・看護の有無) □　受診者に介護及び看護の必要はなく、保護者が児童(乳児(0歳)～小学校就学前(6歳))を保育することはできる。 □　受診者に介護及び看護が必要であり、保護者が児童(乳児(0歳)～小学校就学前(6歳))を保育することは困難である。

医師記入

※1:「保護者」とは保育施設の入所を希望する保護者をいう。
※2:「保護者以外」とは保護者が介護・看護等を行なおうとする者で、保護者の親族等をいう。

上記のとおり診断します。

令和　〇年　〇月　〇日

医療機関名・所在地　〇〇県●●市〇〇町××番地　□□病院

医　師　氏　名　山田　太郎

(以下、保護者記入欄)

保育施設名	南九こども園		
保護者氏名	南九　一郎	児童氏名	南九　花子